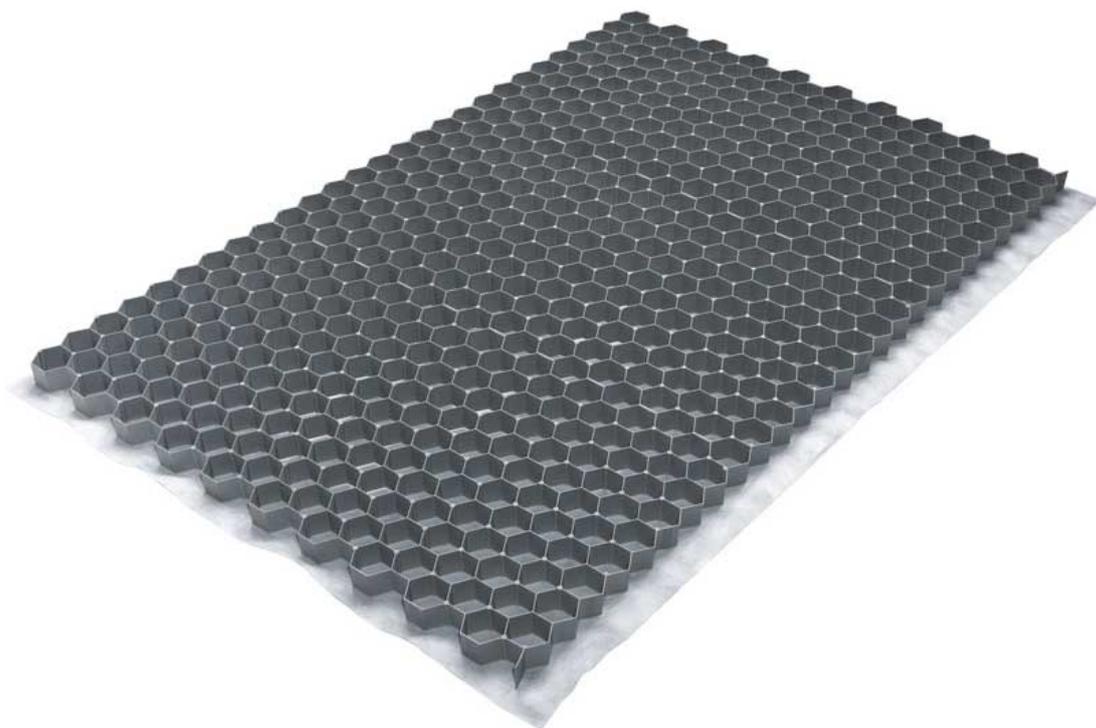


改定日：2024.05.09



この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。

グラベルフィックスプロ・ライト兼用です。

プロ＝大型車両乗り入れ用

ライト＝乗用車乗り入れ／歩行用



■ 使用用途

住宅アプローチ、住宅庭、屋上庭園、駐車場、車両用道路、歩行道路、公園など

■ 仕様

原材料 : ポリプロピレン製 (リサイクル品)

カラー : グレー色

生産国 : オランダ (製造工場はチェコ: ISO9001)

本体寸法: プロ本体 : 1,176 x 764 x 32mm

ライト本体 : 1,176 x 764 x 26mm

本体重量: プロ : 1.53kg

ライト : 1.19kg (1枚辺り)

セル構造: 六角形ハニカム構造

セル直径: 42mm

セル個数: 530ヶ (1枚当たり)

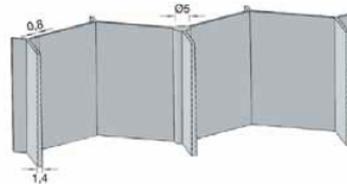
セル壁厚: 最上部=0.8mm、最下部=1.4mm

※強度を上げるため、セルの壁はベベル構造になっています。

耐荷重 : プロ : 約100t/m²

ライト : 約60t/m² (砂利を充填していない状態)

施工気温 : -20℃~70℃

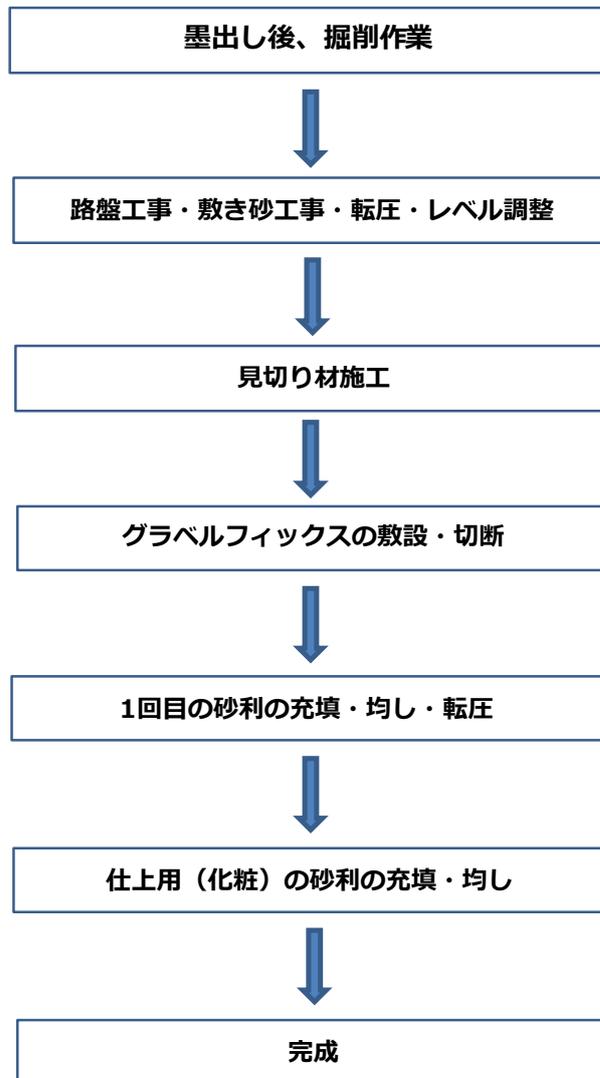


■ 保管方法

グラベルフィックスプロは、直射日光の当たる場所での保管は避け、屋内に保管してください。

また、歪み防止のため、横積みで保管し、縦積みは避けてください。※取扱説明書を参照してください。

施工手順フロー

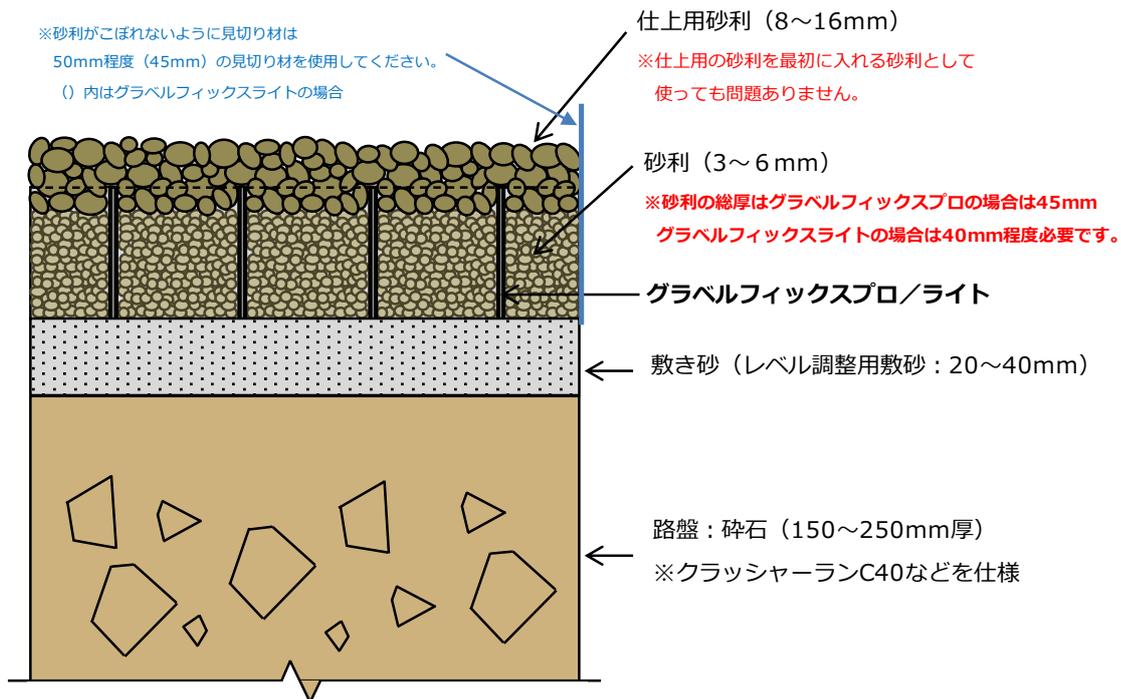


① 下地の施工について

下地の施工は、インターロッキングと同様の下地が必要です。
特に駐車場など、重量物が通る場所での施工においては、路盤工事、敷き砂工事を行ってください。

■ 標準施工断面図（車両乗り入れの場合の図面）

※砂利がこぼれないように見切り材は
50mm程度（45mm）の見切り材を使用してください。
（）内はグラベルフィックスライトの場合



① 路床工事

掘削後、路床の不陸等、不良個所を整地します。

② 路盤工事

碎石（クラッシャーランC40等）を厚み150～250mmを入れ、不陸を調整し、転圧機で固めてください。
※施工地域、状況によって、碎石の種類、深さは調整してください。

③ 敷き砂工事

碎石で固めた路盤に厚み40～60mm程度に砂を敷いて、トンボなどを使用して砂を均し、不陸を調整して転圧機で固めてください。

砂を敷き詰めた後、グラベルフィックスプロの敷設箇所に見切り材を入れてください。

最後に、レベル調整して下地を完成させてください。

② 下地の施工について

例) 見切り材設置



例) 転圧、レベル調整



例) 下地完成



※注意

見切りに関しては、グラベルフィックスプロの
レベル部分から高さ45mmで設定してください。

※砂利があふれるのを防ぐためです

※推奨見切り材：グラベルエッジL（高さ45mm）

③グラベルフィックスプロの施工について

※写真のグラベルフィックスはホワイトですが、商品はグレー色に変更となっております。

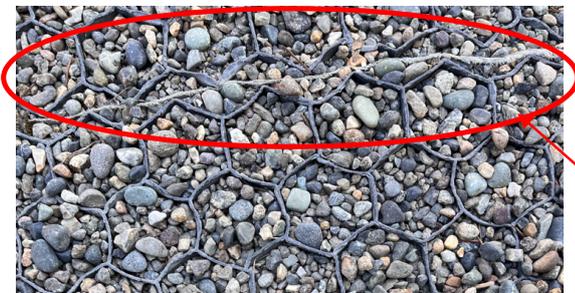
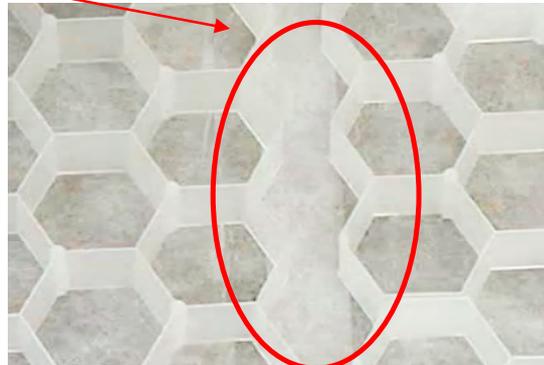
①下地施工が完了後、グラベルフィックスプロを敷き詰めます。

グラベルフィックスプロには不織布がついていますので、並べるだけの簡単施工です。

目地が通らないように、千鳥配列で並べてください。



②グラベルフィックスプロの不織布は片側が長くなっておりまして、**長手・短手ともに30mm程度の隙間を空けて並べてください。** 本体同士の連結は重ねるだけで連結ができますので、下地の砂が見えないように並べてください。



隙間を空けないで設置すると不織布が
このように、不織布がはみ出て見えてしまいます。

④グラベルフィックスプロの施工について

※写真のグラベルフィックスはホワイトですが、商品はグレー色に変更となっております。

③グラベルフィックスプロは鋸（のこぎり）で簡単にカットできます。

曲線、障害物がある場合は、鋸でカットしてください。



④グラベルフィックスプロの敷設完成。



⑤ 砂利の敷設について

※写真のグラベルフィックスはホワイトですが、商品はグレー色に変更となっております。

⑤グラベルフィックスプロの敷設後、砂利の充填作業に入ります。

本体の強度を最大限に発揮するため、最初に充填する砂利は3～6mm程度の砂利を使用し、グラベルフィックスプロの表面一杯まで、隙間なく砂利を入れてください。



⑥砂利を入れる際、**グラベルフィックスのジョイント部分から充填してください。**

その後、残り部分全体に砂利を充填しトンボ等を使って、均一になるように表面を馴染ませてください。

表面を均した後、転圧機を使って転圧してください。



⑥砂利の敷設について

※写真のグラベルフィックスはホワイトですが、商品はグレー色に変更となっております。

⑦最初に敷いた砂利の上から、仕上用の化粧砂利を敷きます。仕上用の砂利は8~16mm程度の大きさの砂利を使います。砂利を入れたのち、同様にトンボ等を使って馴染ませてください。



⑧グラベルフィックスプロが見えなくなるまで均等に均した後、転圧してください。それで完成です。

(※最初に入れる砂利と仕上用化粧砂利を同じものを使っても構いません。)



⑦砂利の敷設についての注意事項

⑨砂利の敷設については、必ず、グラベルフィックスのハニカムが見えなくなるまで砂利を充填してください。又、砂利の転圧が甘いと、砂利の自重によってハニカムが見えてきます。

ハニカムが見えると、車両のタイヤ等でこのようにグラベルフィックスのハニカムが破損してしまいます。

砂利の補填についての良い使用例と悪い使用例について、写真を参照してください。



○良い例



×悪い例

ハニカムが見えてきますと、グラベルフィックス本体の車両のタイヤが直接載るとダメージを受けます。

下記写真は、車両のタイヤのダメージを受けた写真です。

